

令和 9 年度

総合型選抜

(外国人留学生対象)

学生募集要項



本学では、インターネット出願を導入しています。
冊子による学生募集要項の配付は行いませんので、本学入試情報特設 Web サイト
(<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/>) から閲覧またはダウンロードしてください。

令和 9 年 4 月入学者用の学生募集要項です。

愛知教育大学

目 次

各ポリシーの紹介	1
入学者選抜日程の概要	4
1. 趣旨	5
2. 募集人員	5
3. 各課程・専攻・専修・コースが望む学生像	6
4. 出願資格・出願要件	9
5. 出願書類等	9
6. 出願手続	10
7. 受験票及び受験案内のダウンロード、印刷	12
8. 入学者選抜方法	13
9. 障害のある入学志願者との事前相談	16
10. 受験に関する注意	17
11. 免許教科の決定について	17
12. 合格者発表	18
13. 入学手続	18
14. 学生寮への入寮について	19
15. 入学手続辞退	19
16. 不合格者の再出願	19
17. 教育・学習データ利活用について	19
18. 個人情報の取り扱いについて	19
19. 入学試験個人成績の開示	20
20. 安全保障輸出管理について	20
21. 「こども性暴力防止法」に関する対応について	20
◆愛知教育大学へのアクセス	21

卒業認定・学位授与の方針【ディプロマ・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点的作用を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

そこで、規定の年限在学し、以下のような資質・能力を身に付けるとともに、所定の単位を取得した人に学士（教育学）の学位を授与します。

◆学校教員養成課程

- 1 学校教員として求められる基本的な資質・能力と実践的指導力
 - 1－1 子どもの個性を尊重し、一人一人に寄り添い学びを支援する力
 - 1－2 学校教育の意義や今日的な課題を理解し、先端技術を効果的に活用しながら、子どもの豊かな学びの実現に向けて実践する力
 - 1－3 学校安全と多様な子どもに対応できる基礎的な知識を身に付け、適切に学級経営を行う力
- 2 同僚、保護者や地域社会等と連携し協働する態度
- 3 自己を振り返り、絶えず向上心を持って学び続ける姿勢
- 4
 - ・幼児教育専攻では、子どもの発達過程を理解し、一人一人に応じた教育・保育を適切に行う力
 - ・義務教育専攻では、子ども理解に基づく生活指導や生徒指導、学級経営と、綿密な教材研究に基づく的確な学習指導を適切に行う力
 - ・高等学校教育専攻では、専門的な資質・能力を身に付け、教科の指導や学習方法の開発を行う力
 - ・特別支援教育専攻では、多様な障害のある子どもの状態と教育的ニーズを把握し、生活指導や学習指導、自立活動等の指導及び支援を適切に行う力
 - ・養護教育専攻では、学校におけるすべての教育活動を通して、健康教育と健康管理を適切に行い、子どもの発育・発達の支援に向けてコーディネートする力

◆教育支援専門職養成課程

- 1 教育を支える専門職として求められる基本的な資質・能力と実践力
 - 1－1 子ども、保護者及び教員が抱える問題に、幅広い教養と市民感覚に基づいて柔軟に対応する力
 - 1－2 専門職としての基本的な知識・技能を身に付け、多職種と連携・協働して、諸課題に取り組む力
- 2 同僚、保護者や地域社会等と連携し協働する態度
- 3 自己を振り返り、絶えず向上心を持って学び続ける姿勢
- 4
 - ・心理コースでは、心理の基礎から応用までを学び、心理支援において課題を解決する力
 - ・福祉コースでは、人と環境に焦点をあて、子どもや家庭・地域の課題を理解し、社会資源を活用しながら当事者と共に課題を解決する力
 - ・教育ガバナンスコースでは、学校事務等の公益的な教育や行政のさまざまな調整や戦略的企画の立案・推進等を通して、学校・地域等の課題を解決する力

教育課程編成・実施の方針【カリキュラム・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点的作用を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

この使命を達成し、ディプロマ・ポリシーに基づいた学生を育成するために、以下の科目等で教育課程を編成・実施し、授業目標への到達度で成績評価を行うとともに、セメスター毎の評価を学修ポートフォリオに蓄積することにより、学生が学びの履歴を確認できる機会を提供します。

- 1 大学での学びの入り口として、深い教養を身に付ける必要感や目指す職業人の魅力や社会的意義を認識し、主体的な問題発見及び問題解決能力を育成するための基礎教養科目
 - 1-1 多様な学修歴を有する入学者に対応できるように、大学生活や社会に出る準備段階としての学修意欲を高め、学習規律を身に付ける【初年次演習】や【キャリアデザイン科目】を設定します。
 - 1-2 学校現場で求められている「課題を発見する力」「情報を読み取る力」「複眼的に物事を捉える力」「他者と協働する力」「解決に導く力」等の主体的な問題発見及び問題解決能力や能動的な学修活動能力を育成する【課題探究科目】を設定します。
- 2 教職及び教育を支える専門職に必要な資質・能力の基礎を育成するための教育実践教養科目
 - 2-1 教育実践を支える職業人の役割について考えるとともに、新しい持続可能な社会に向けた、ユニバーサルデザインの学校教育の基盤について、多面的に捉えて理解する【教職教養科目】を設定します。
 - 2-2 学校現場で対応の要望が高まる外国人児童生徒支援教育、学校安全等を題材に、新しい教育の機会均等やマネジメントの在り方について探る【現代的教育課題対応科目】を設定します。
 - 2-3 子どもの生活実態を知り、子どもとのコミュニケーション能力を養い、感性を磨くなど、教育実践を支えるための実践力を高めることを目的に、附属学校や国内外の連携協力校、地域社会等の協力を得て実施する【実践力育成科目】を設定します。
- 3 各課程において教職又は教育支援専門職としてのキャリアの形成及びその専門性を高めるための専修科目
 - 3-1 学校教員養成課程では、教職の基礎となる理論や指導実践に関わる知識と経験を修得する教職課程対応科目群からなる【専攻基礎科目】と、専門領域の精深な知識を修得して教職に求められる学識と能力を培う【専攻科目】を設定します。
 - 3-2 教育支援専門職養成課程では、学校教育とそれを支える分野の基礎的な理論と実践に関わる知識と経験を修得する【教育学基礎科目】【教育支援科目】と、専門領域の精深な知識を修得して各専門職に求められる学識と能力を培う【専攻科目】を設定します。
 - 3-3 各課程の専攻基礎科目、教育学基礎科目、教育支援科目及び専攻科目で修得・形成した知識、経験、学識、能力を統合・発展させ、課程、専攻、専修、コース等の専門分野を超えた学び合いを通して、自律的に専門性を高める【未来共創科目】を設定します。
- 4 大学での学びと実践を結び付ける、往還的学修のための実習科目
 - 4-1 学校教員養成課程では、3年次以降に実践的な模擬指導演習や学校現場での教育実習で、身に付けた専門性を試行して学修の到達を振り返る場として【教育実践開発科目】を設定します。
 - 4-2 教育支援専門職養成課程では、支援の実践を学び、知識と技術を統合する場として【心理実習】【社会福祉実習】【学校・自治体インターンシップ】等を設定します。
- 5 大学での学びの集大成としての卒業研究
 - 5-1 専門分野に関わり、自ら研究テーマを設定し、文献調査、実地調査、質問紙調査、実験、制作などを通して学術的に探究し、まとめ、発表する【卒業研究】を設定します。

入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点の役割を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

学校教員養成課程では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員として活躍できる専門的な知識・技能を有し、教育諸課題に適切に対応できる教員の養成を目的としています。

教育支援専門職養成課程では、心理・社会福祉・教育行政等の専門的な知識・技能を有し、教育活動と子どもたちを支援することができる専門職の養成を目的としています。

そこで、次のような人を求めています。

- 1 子どもの成長に関わることに喜びを感じ、将来、教員や専門職として学校教育に携わる強い意欲を持つ人
- 2 確かな基礎学力を有し、関連する幅広い分野の学びに関心を持つ人
- 3 創造力や探究心を持つ人
- 4 多様な考えや価値観を持つ人を認め、自らの考えを表現しながら協働できる人
- 5 学校と地域社会との関わりに関心があり、地域の活動に参加することができる人

（入学者選抜の基本方針）

大学入学共通テストを課さない総合型選抜と大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜及び一般選抜（前期日程、後期日程）により、将来、教職又は教育支援専門職を目指すために本学での教育を望むものとして必要な知識・技能、資質・能力のほか、教職への意欲等を学力の3要素等から多面的・総合的に評価して、多様な入学者を選抜します。

【総合型選抜】

〈外国人留学生対象〉

日本における学校教育や教育を支える仕組み等について、積極的に学ぶ意欲のある外国人留学生を対象に、入学後の生活や勉学に必要な日本語能力、学修に必要な基礎学力等を小論文（日本語）、面接（日本語）、学力検査（実技検査を含む）によって総合的に評価します。

本学への入学前に学習しておくことが期待される内容

本学では、学校教員や教育支援専門職の養成にあたり幅広い教養と基礎学力等を身に付けていることを求めています。そのため、本学に入学するまでに学習しておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- ① 高等学校段階までの教育課程における基礎的・基本的な知識・技能と思考力
- ② 自らが専攻しようとする教科等に関わる基本的内容
- ③ 上記①②を通して、多面的・多角的にものごとをとらえ、論理的に思考・判断できるように幅広く学びを深め、探究する態度

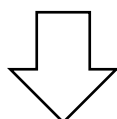
なお、将来、学校教育に教員又は教育支援専門職として携わることを望む者として、高等学校段階での教育課程による学びだけでなく、自ら子どもとの交流経験を求めたり、学校教育及び教育に関わる諸問題への関心を深めたりするための主体的な学びや活動を通して、多様な価値観や考えを持つ人々とコミュニケーションする力や、自らの考えを深めてそれを表現する力を身に付けておくことを望みます。

令和9年度 総合型選抜（外国人留学生対象）

入学者選抜日程の概要

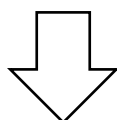
出願サイトでの出願登録期間

令和8年9月4日（金）～9月16日（水）



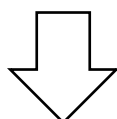
出 願 期 間

令和8年9月11日（金）～9月17日（木）



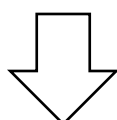
試 験 期 日

令和8年10月24日（土）



合 格 発 表

令和8年11月13日（金）



入 学 手 続

～ 令和8年12月4日（金）

1. 趣旨

近年における、我が国の政治・経済・文化・技術その他あらゆる方面にわたる国際的活動の拡大、世界における我が国の地位や全世界的規模で推進されている国際的交流の拡大にかんがみ、国際理解・国際協調の観点から大学教育においても国際交流の推進に積極的に取り組む必要があります。そのためには、諸外国の多様な文化に接し、それぞれの歴史と伝統を有する社会で教育を受けた者を、一般の入学者選抜方法とは別の選抜を行い、国際的に活躍しうる有為な人材を養成することが適当と考えられます。

よって、本学では、外国人留学生のための総合型選抜を次の表のとおり実施します。

2. 募集人員

課程・専攻・専修・コース					募 集	募 集 人 数	
学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻				○	若干名	
	義 務 教 育 専 攻	教 科 指 導 系	学 校 教 育 科 学 専 修		○		
			生 活 ・ 総 合 専 修		○		
			I C T 活 用 支 援 専 修		○		
			日 本 語 支 援 専 修		○		
			国 語 専 修		○		
			社 会 専 修		○		
			算 数 ・ 数 学 専 修		○		
			理 科 専 修		○		
			音 楽 専 修		○		
			図 画 工 作 ・ 美 術 専 修		○		
			保 健 体 育 専 修		○		
			も の づ く り ・ 技 術 専 修		○		
			家 庭 専 修		○		
			英 語 専 修		○		
	高 等 学 校 教 育 専 攻	教 科 学 習 開 発 系	国 語 ・ 書 道 専 修		○		
			地 歴 ・ 公 民 専 修		○		
			数 学 専 修		○		
			理 科 専 修		○		
			英 語 専 修		○		
	特 別 支 援 教 育 専 攻				○		
	養 護 教 育 専 攻				○		
養 成 課 程 専 門 職 教 育 支 援	心 理 コ ー ス				○		
	福 祉 コ ー ス				○		
	教育ガバナンスコース				○		

- (注) ア. 表中の○印は募集する専攻・専修・コースを示します。
 イ. 本学における教育は一般選抜により入学した者と同じです。
 ウ. 授業は日本語で行われます。
 エ. 学校教員養成課程は教員免許取得が卒業のため必須です。

3. 各課程・専攻・専修・コースが望む学生像

アドミッション・ポリシーをふまえ、各課程・専攻・専修・コースでは、次のような学生の入学を望みます。

学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻		乳幼児を取り巻く諸問題に興味・関心があり、幼児教育・保育に関する専門的知識に関心をもつとともに、子どもに共感し、環境を通じた遊びを中心とした保育を構想し、柔軟に展開できる資質・能力として、特に、子ども理解にもとづくコミュニケーション能力や問題解決力、協働や創造の力などを身につけることに意欲的な者を望みます。	
	義 務 教 育 専 攻	学 校 教 育 科 学 専 修	実践的指導力を有する教員の養成を目的に、教育学、キャリア教育学や教育心理学などの教育諸科学に関する専門的知識に関心をもつとともに、「ものごとを多角的に理解し、多様性を尊重する力」「他者と協働し、課題に取り組む力」「答えのない課題に対しても、情報を収集しながら意欲的に取り組む力」を有する者を望みます。	
		生 活 ・ 総 合 専 修	児童・生徒の興味・関心に目を向け、それらを教材として組み立てるために必要な子ども理解の視点や専門的知識に関心をもつとともに、体験から生まれる学びを価値づけたり、地域の題材から課題を設定し解決をしていく探究のプロセスの構想、そこにもとづく指導計画を立案したりすることに意欲的な者を望みます。	
		I C T 活 用 支 援 専 修	I C T や I C T を活用した教育に興味関心があり、物事を論理的に考えることができ、I C T を使って問題を解決したり物事を効率的に進めることに意欲をもつとともに、将来、情報モラル育成のための専門的知識や I C T を積極的にかつ有効的に教育に活用できる技術を身につけたいと考えており、卒業後は、学校で I C T の活用やプログラミングを教えたり、学校全体の情報化に中心的に貢献することを希望している者を望みます。	
		日 本 語 支 援 専 修	言語文化背景が異なる子どもたちをめぐる諸問題に関心があり、その子どもたちを支援するために必要な専門的知識を積極的に得ようとするとともに、特に、子どもの多様性を認める力や問題解決力、協働の力などを身につけることに意欲的な者を望みます。 注意：日本語支援専修は、日本語教育を学ぶだけではなく、日本の義務教育（小中学校）の教員としての専門的な知識・技能を習得することが目的です。「小学校教諭二種」「中学校教諭二種」という教員免許状を取得することが、卒業するために必要です。	
		教 科 指 導 系	国 語 専 修	国語科や国語科を核とした関連諸分野、および言語やリテラシーなどに興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもつとともに、特に、ものごとを読み解く力、論理的な思考力や創造力などを身につけ、将来教育現場において、それを生かしていくことに意欲的な者を望みます。
			社 会 専 修	社会科や社会科を核とした関連諸分野に興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもち、特に、社会的な諸事象を読み解く力、知識と知識を結びつけて新たな知を導き出す力、論理的な思考力や判断力、創造力や探究心を育むことに意欲的であり、かつ多様な価値観を認めて対話や協働を行うことができ、教員として学校教育に携わる強い意欲をもつ者を望みます。
			算 数 ・ 数 学 専 修	算数・数学科およびその関連諸学科とそれらの学習を通じた児童生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、それらの教育に必要な専門的知識に関心をもち、高等学校「数学Ⅲ」の素養を前提として、数量的スキルや数学的な考え方・表現力等を身につけることに意欲的な者を望みます。算数・数学をよりわかりやすく教えたり、そのおもしろさや有用性を伝えられる教員をめざして、努力しようと志す者を望みます。
			理 科 専 修	児童の身のまわりのものや現象に興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、合理的なものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、自然への敬愛や科学技術の素晴らしさを具体的に分かりやすく教えたり、その意義や有用性を伝えたりできる教員をめざして、努力しようと志している者を望みます。

学 校 教 員 養 成 課 程	義 務 教 育 専 攻	教 科 指 導 系	音 楽 専 修	児童生徒をとりまく音や音楽、および音楽表現に興味関心をもち、本学入学以前には、基礎的な音楽技能を身につけ、さらに教科書に記載された基礎的な音楽理論や音楽史に関する事項を学習しておくことを期待します。入学後は、音楽に関する創造力と構成力、答えのない問題に解を見出していく力、および音楽表現に必要な技能などを身につけたいと考える者で、将来、教育現場においてそれらを生かしていこうとする強い意志をもつ者を望みます。
			図画工作・美術専修	美術鑑賞や制作活動などに興味関心をもち、本学入学以前に観察力や基礎的な描写力などを十分にもっていることを期待します。入学後は、美術に関する創造力と構想力、表現に必要な技能などを身につけることに意欲的で、図画工作・美術教育を通して感性や想像力を育み、生活や社会の中の美術や文化と豊かに関わる子どもの育成に意欲のある者を望みます。
			保 健 体 育 専 修	スポーツに親しみをもち、スポーツ実践を介した豊かな経験を有し、かつ健康に関する内容に興味関心がある者を望みます。また、人と広く交流し、コミュニケーションをとることができる資質や能力を有し、子どもに愛情をもって寄り添い、支え続け、子どもの成長にかかわる教員になろうとする強い意欲をもって、保健体育に関する学びを深め、探究しようとする者を望みます。
			ものづくり・技術専修	ものづくりが好きで、科学技術や技術教育に関わる諸問題などに興味関心をもち、科学技術に関する高校までの基礎的な数理的知識をもって受験することを期待します。入学後は、幅広い工学（木工・金工・電気・機械・情報）および農学の知識と技能を身につけて、将来教育現場において、これらの能力を生かそうとする者を望みます。
			家 庭 専 修	生活に関わる諸問題などに興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、人間の生活とその教育について深く洞察する力、客観的思考力や分析的思考力、合理的にものごとを説明する力などを身につけ、将来教員としてそれらを生かしていこうとする強い意志と意欲をもつ者を望みます。
			英 語 専 修	英語科や英語科を核とした関連諸分野とそれらの学習を通じた児童生徒の知的成長に興味関心があり、学校現場での教育に携わるために求められる専門的および実践的知識に関心をもつとともに、特に、論理的な思考力、想像力や英語でのコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。
	高 等 学 校 教 育 専 攻	教 科 学 習 開 発 系	国語・書道専修	国語科や国語科を核とした関連諸分野、および言語やリテラシーなどに興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもつとともに、特に、ものごとを読み解く力、論理的な思考力や創造力などを身につけ、将来教育現場において、それを生かしていくことに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
			地歴・公民専修	地歴科や公民科を核とした関連諸分野に深い関心をもち、特に、資料や情報の読解力や分析力、知識と知識を結びつけて新たな知を導き出す力、論理的な思考力や判断力、創造力や探究心を身につけることに意欲的であり、かつ多様な価値観を認めて対話や協働を行うことができ、教員として学校教育に携わる強い意欲をもつ者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
			数 学 専 修	数学や数理科学全般、さらには、それらの学習を通じた生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、それらの教育に必要な専門的知識に関心をもち、高等学校「数学Ⅲ」の素養を前提として、数量的スキルや数学的な思考力・表現力等の数理リテラシーを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。

学 校 教 員 養 成 課 程	高 等 学 校 教 育 専 攻	教 科 学 習 開 発 系	理 科 専 修	理科や理科を核とした関連諸分野に興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、合理的なものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
			英 語 専 修	英語科や英語科を核とした関連諸分野とそれらの学習を通じた生徒の知的成長に興味関心があり、学校現場での教育に携わるために求められる専門的および実践的知識に関心をもつとともに、特に、論理的な思考力、想像力や英語でのコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
	特 別 支 援 教 育 専 攻			視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱・発達障害など、さまざまな障害のある子どもの教育について幅広い専門性を持ち、実践的指導力を身につけた教員をめざす者を望みます。そのために、障害のある子どもの実態を客観的にとらえ、積極的に働きかける力があり、他の教員たちと協働しながら、特別支援教育の諸課題に対して問題意識を高め、みずから考え工夫し解決していく強い意志と意欲をもつ者を望みます。
	養 護 教 育 専 攻			学校の保健管理や保健教育、子どものからだところの健康問題に興味関心があり、それらの教育に携わるために求められる専門的知識に関心をもつ者を望みます。特に、専門科目を学ぶために必要な理数系科目を深く洞察する科学的探究心を育み、分析的思考力やコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。
	教 育 支 援 専 門 職 養 成 課 程	心 理 コ ー ス		
福 祉 コ ー ス			子どもやその家庭をとりまくさまざまな課題に対する相談援助・生活支援を担う高度な知識・技術を身につけた、スクールソーシャルワーカーをはじめとする福祉の専門職の養成をめざしています。そのために、教育・福祉に興味・関心を持ち、学校や地域と連携しながら子どもの健やかな未来を支援する教育支援者、福祉専門職として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	
教 育 ガ バ ナ ン ス コ ー ス			学校をはじめとする教育事務の調整、戦略的企画の立案、管理事務に対応できる資質・能力を備え、学校や教育にかかわる業務を専門的見地から支援し、情報活用能力や多文化への理解力を身につけた、学校や教育機関で活躍できる教育事務職員の養成をめざしています。そのために、教育・法律・行政・情報・多文化理解に興味・関心を持ち、教育支援者として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	

4. 出願資格・出願要件

外国人であって日本国の永住許可を得ていない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者

(1) 基礎資格

次のいずれかに該当する者

- ア. 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- イ. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベル、国際 A レベル、欧州バカロレア資格を保有する者
- ウ. 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）の認定を受けた教育施設の 12 年の課程を修了した者

(2) 要件

次に掲げるすべての要件に該当すること。

- ア. 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（文系・理系どちらでもよい）を受験し、その得点が 400 点以上の者

- ① 受験科目は、理系は日本語、理科（物理・化学・生物の 3 科目のうち、2 科目を選択）、数学（コース 1 又はコース 2 のどちらでもよい）の 3 教科 4 科目とし、文系は日本語、総合科目、数学（コース 1 又はコース 2 のどちらでもよい）の 3 教科 3 科目とする。（日本語科目に記述は含まない）
- ② 出題言語は、日本語又は英語のどちらで受験してもよい。
- ③ 利用する日本留学試験は、前年度の 11 月実施分又は当該年度の 6 月実施分のどちらでもよい。

※2026 年度日本留学試験の実施状況によっては、要件を緩和する場合があります。緩和することを決定した場合は、本学 Web サイトで公表しますので、そちらをご確認ください。

- イ. 出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）において大学入学に支障のない在留資格を有すること。
- ウ. 合格した場合、必ず入学することを確約できる者であること。

5. 出願書類等

下記の書類を出願期間内に提出してください。受理した出願書類は返還しません。

出願サイトからの印刷物	①入学志願票	出願内容等に間違いがないか確認し、出願サイト登録後にカラー印刷してください。 (注) 出願前 3 か月以内に撮影した正面、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、出願サイトからアップロードしてください。
	②宛名シート及び出願書類チェックリスト	インターネット出願登録後、印刷したもの（カラー印刷）を出願書類提出用封筒（角形 2 号）の表面に貼付してください。
本学入試情報サイトから所定様式をダウンロード	③身上記録	黒のペン又はボールペンを用いて記入してください。
	④推薦書 ※	卒業（卒業見込み）した高等学校の学校長もしくは指導教員等が作成してください。（様式は任意のものでも構いません。） (注) 日本語学校は対象となりませんので、必ず卒業（見込み）の高等学校のもので作成してください。
	⑤音楽実技内容届	音楽専修志願者は必ず提出してください。
	⑥健康診断書「負荷心電図の所見」	保健体育専修志願者は必ず提出してください。 (注) 出願前 3 か月以内に作成したもので、医師が診断・証明したものを提出。

その他必要書類	⑦高等学校の卒業（修了）証明書又は同見込証明書※	高等学校の卒業（修了）証明書又は同見込証明書の原本を提出してください。 （注）卒業証書の写は不可としますので注意してください。
	⑧日本留学試験の成績確認書	「2025 年度 11 月実施の日本留学試験」又は「2026 年度 6 月実施の日本留学試験」の成績確認書
	⑨成績証明書等※	1. 高等学校の成績証明書（出身学校長の作成したもの） ただし、成績証明書記載事項のうち科目名・成績評価等が符号又は略字により表示されている場合には必ずその説明を付してください。 2. 国際バカロレア資格を取得した者は、国際バカロレア資格証書の写及び最終成績 6 科目の成績評価証明書 3. アビトゥア資格を取得した者は、大学入学資格証明書の写及び最終試験 4 科目の成績証明書 4. バカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格証書の写及びバカロレア資格試験成績証明書 5. GCEA レベル資格を取得した者は、GCEA レベル資格証明書の写及び成績証明書 6. 国際 A レベルを取得した者は、国際 A レベル資格証書の写及び成績証明書 7. 欧州バカロレア資格を取得した者は、欧州バカロレア資格証明書の写及び成績証明書 8. 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者は、最終学校の成績証明書、修了証明書又は修了見込証明書及び当該教育施設が上記の団体から認定を受けていることが確認できる書類 9. 当該国の認定試験に合格した者は、その合格証明書及び成績証明書 10. 日本の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了及び修了見込みの者は、その課程の修了証明書又は修了見込証明書
	⑩在留カードのコピー	海外居住者は、パスポートのコピー ※在留カードは、表裏両面のコピーを提出してください。 （パスポートは、氏名、生年月日、国籍、性別、顔写真、パスポート番号面のコピーを提出してください。）

※証明書等で、外国語で作成されたものについては**日本語訳**を添付すること。

6. 出願手続

本学はインターネット出願システム Post@net（ポスタネット）を利用しています。

出願手続は出願登録期間に①出願登録、②検定料の支払い、③出願書類を郵送し、本学に到着することによって完了します。（①②③のいずれかが行われなかった場合は、出願が受け付けられません。）

【インターネット出願登録及び入学検定料支払期間】は以下のとおりです。（出願受付期間前から出願情報の登録及び検定料の支払いは可能です。）

【インターネット出願登録期間】	令和 8 年 9 月 4 日（金） 9 時 から 9 月 16 日（水） 17 時 00 分まで
【入学検定料支払い期間】	令和 8 年 9 月 4 日（金） 9 時 から 9 月 16 日（水） 23 時 59 分まで

【出願期間】は下記のとおりです。

令和8年9月11日（金）から9月17日（木）17時まで

出願書類の提出は郵送（簡易書留速達）に限ります。9月17日（木）17時までに本学入試課に必着となるよう送付すること。
出願期間を過ぎた場合には受理しませんので、郵便事情を考慮し、早めに郵送してください。

出願の流れ

1. 事前準備

学生募集要項を確認し、調査書、証明写真データ等の必要書類を準備してください。

2. アカウント作成

インターネット出願登録には Post@net でのアカウント登録が必要です。

画面の手順に従い、必要事項を入力して登録を行います。Post@net へのリンクは、インターネット出願登録期間中、本学入試情報サイト（<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/>）に掲載します。

3. インターネット出願登録

トップページの「学校一覧」から「愛知教育大学」を検索してください。

「【初回】出願」ボタンをクリック後、手順や留意事項を確認し、画面に従って必要事項を入力してください。

4. 検定料の支払い

検定料の支払い方法を選択し、支払い期限までに入学検定料 17,000 円（別途、支払手数料がかかります。）を支払います。

入学検定料の支払いは下記のいずれかの方法で行ってください。

①クレジットカード ②コンビニエンスストア ③金融機関 ATM（ペイジー）

支払い方法の選択後に表示された支払い情報は、支払いの際に必要な番号です。必ず画面を印刷、またはメモしてください。なお、**検定料の支払い後は、登録内容の変更はできません**ので、注意してください。

5. 入学志願票と宛名シートの印刷

検定料の支払い後に届く「インターネット出願 支払完了」のメールに記載の URL、または出願サイト内「出願内容一覧」の「出願内容の確認」から、入学志願票と宛名シート及びチェックリストがダウンロードできるようになります。

6. 必要書類の郵送

宛名シート及びチェックリストをカラー印刷してください。出願書類が全て揃っているか、チェックリストにて確認してください。市販の角形2号封筒の表面に宛名シート、裏面にチェックリストを貼り付けてください。必要書類一式を封入し、**簡易書留速達**で郵送してください。出願書類等の提出は郵送に限ります。日本国外から出願する場合は、EMS 等の追跡可能な方法で送付してください。

「出願内容一覧」で確認できる証明写真に「承認待ち」と表示される場合があります。出願書類の送付にあたり、証明写真の「承認」をお待ちいただく必要はありません。準備が整い次第、出願書類を郵送してください。

■インターネット出願に関する問い合わせ先（開設期間：インターネット出願登録期間中の平日 9：00～17：00）

出願サポート窓口 TEL 075-341-8670

■入学試験に関する問い合わせ

愛知教育大学入試課 TEL 0566-26-2202

出願にあたっての留意事項

- (1) 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (2) 出願書類の氏名は、通称・略字等を使用せず、必ず在留カードどおりに記入してください。
- (3) インターネット出願登録後は、出願事項の変更は認めません。また、いったん受理した出願書類は返還しません。
- (4) 出願に必要な書類のうち、一つでも不備がある場合は受理できませんので、郵送する前に、もう一度すべての書類がそろっているか確認してください。
- (5) 検定料の支払い後は、志望内容の変更には一切応じません。

払い込まれた検定料は次の場合を除き返還しません。

- ① 出願書類を提出しなかった場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
- ③ 出願書類等に不備があり、受理されなかった場合(返還額：振込手数料を差引いた額)

* 検定料の返還請求方法

志願者の申し出により返還しますので、次の(ア)、(イ)の書類を郵送してください。

(令和8年11月10日(火)まで)

(ア) 入学検定料の支払いを証明する書類(領収書等)

(イ) 「入学検定料返還請求書」(便せん等に次の1～7を明記してください。)

- 1 返還請求の理由
- 2 試験区分(総合型(一般受験者対象))
- 3 氏名(フリガナ)
- 4 現住所
- 5 連絡先電話番号
- 6 返還請求額(17,000円)
- 7 返還金振込先 1)金融機関名(可能な限り、郵便局・ゆうちょ銀行以外の金融機関)
2)支店名
3)預金種別(当座・普通)
4)口座番号
5)口座名義人(フリガナ)
6)口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

【郵送先】 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学入試課 TEL0566-26-2202

返還時期は、令和8年12月末(請求時期により異なります。)までを予定しております。

また、大規模な災害により災害救助法適用地域において被災又は避難されている学資負担者又は志願者は、入学検定料が免除になることがありますので、入学検定料を支払う前の出願開始日1週間前までに本学入試情報サイト「入学検定料の免除について」(<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/student-life/support.html>)を確認の上、申請してください。

7. 受験票及び受験案内のダウンロード、印刷

受験票及び受験案内は、令和8年10月19日(月)頃からダウンロード及び印刷が可能となります。出願サイトから受験票をダウンロード及びカラー印刷し、試験当日に持参してください。

また、受験案内は受験票に記載の二次元コードまたはURLより確認できます。受験案内には受験上の注意事項(集合時間や場所等)が記載されていますので、ダウンロード及びカラー印刷し、試験当日に持参してください。

8. 入学者選抜方法

(1) 入学者選抜

選抜は、専攻・専修・コースが定める次の選考要件に、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験及び出願書類を総合して行います。また、各配点の3分の1及び総点の2分の1を最低基準点とし、これに満たない場合は不合格とします。

課程・専攻・専修・コース				選 考 要 件 （ 配 点 ）					
				小 論 文	面 接	学力検査	実技検査	総 点	
学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻			400	100	—	—	500	
	義 務 教 育 専 攻	学 校 教 育 科 学 専 修		400	100	—	—	500	
		生 活 ・ 総 合 専 修		400	100	—	—	500	
		I C T 活 用 支 援 専 修		400	100	300	—	800	
		日 本 語 支 援 専 修		400	100	—	—	500	
		教 科 指 導 系	国 語 専 修		400	100	—	—	500
			社 会 専 修		400	100	—	—	500
			算 数 ・ 数 学 専 修		400	100	300	—	800
			理 科 専 修		400	100	—	—	500
			音 楽 専 修		400	100	—	300	800
			図 画 工 作 ・ 美 術 専 修		400	100	—	300	800
			保 健 体 育 専 修		400	100	—	300	800
			も の づ く り ・ 技 術 専 修		400	100	—	—	500
			家 庭 専 修		400	100	—	—	500
		英 語 専 修		400	100	300	—	800	
	高 等 学 校 教 育 専 攻	教 科 学 習 開 発 系	国 語 ・ 書 道 専 修		400	100	—	—	500
			地 歴 ・ 公 民 専 修		400	100	—	—	500
			数 学 専 修		400	100	300	—	800
			理 科 専 修		400	100	—	—	500
			英 語 専 修		400	100	300	—	800
特 別 支 援 教 育 専 攻			400	100	—	—	500		
養 護 教 育 専 攻			—	100	300	—	400		
養 成 課 程 専 門 職 教 育 支 援	心 理 コ ー ス			400	100	—	—	500	
	福 祉 コ ー ス			400	100	—	—	500	
	教 育 ガ バ ナ ン ス コ ー ス			400	100	—	—	500	

(2) 選考要件

1) 小論文（日本語）

学校教員養成課程養護教育専攻を除いて全員受験してください。

内容は志願する専攻・専修・コースに関するものです。

なお、日本語支援専修、英語専修の志願者には、英語の小論文を課すこともあります。

2) 面接（日本語）

全員受験してください。

内容は志願する専攻・専修・コースに関するものです。

※学校教員養成課程義務教育専攻教科指導系英語専修と学校教員養成課程高等学校教育専攻教科学習開発系英語専修の志願者は**日本語と英語で面接を行います**。

3) 学力検査

学力検査を課す専攻・専修・コース及び試験科目は、次のとおりです。

なお、学力検査の出題科目は、平成 30 年 3 月告示高等学校学習指導要領に対応した 9 科目とします。

a. 学校教員養成課程 義務教育専攻 ICT 活用支援専修

学校教員養成課程 義務教育専攻 教科指導系 算数・数学専修

学校教員養成課程 高等学校教育専攻 教科学習開発系 数学専修

数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学 A（場合の数と確率，図形の性質），数学 B（数列），
数学 C（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）

b. 学校教員養成課程 義務教育専攻 教科指導系 英語専修

学校教員養成課程 高等学校教育専攻 教科学習開発系 英語専修

英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，
論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ

c. 学校教員養成課程養護教育専攻

保 健

4) 実技検査

学校教員養成課程義務教育専攻教科指導系音楽専修，図画工作・美術専修，保健体育専修の志願者は受験してください。

a. 音楽専修の実技検査の内容は，次のとおりです。

次の A，B から一つを選択し，Ⅰ，Ⅱともに受験すること。

A. ピアノを選択する者

Ⅰ. 任意の一曲（くり返しは無し）

Ⅱ. 声楽実技・・・任意の一曲

B. 声楽を選択する者

Ⅰ. 任意の一曲

Ⅱ. ピアノ実技・・・任意の一曲

※上記 A，B について，受験するものをあらかじめ選択し，演奏する曲の作曲者名，曲名を届け出ること。

【備 考】

①いずれも暗譜演奏のこと。

②声楽においては，原語で歌うこと。なお，出願書類と共に楽譜（伴奏付）を提出すること。

b. 図画工作・美術専修の実技検査の内容については，次のとおりです。

美術の実技に関する以下の設問について，観察力，基礎的な描写力を総合的にみます。

鉛筆デッサン（2 時間）

「与えられたモチーフを持つ手」をケント紙に描いてください。

※鉛筆（2 B），消しゴム等，使用する用具はすべて本学で用意します。

※持参する用具はなく，本学で配付する用具以外のものは使用できません。

c. 保健体育専修の実技検査の内容は，次のとおりです。

次の種目のうち 1 種目を選択し，実技を行い，運動技能と運動能力について検査します。

① 陸上競技

② 器械運動

③ 水 泳（競泳）

④ バスケットボール

⑤ バレーボール

⑥ サッカー

⑦ ハンドボール

⑧ ダンス（創作ダンス）

※受験する種目については，あらかじめ届け出ること。

詳細については，受験案内にて発表します。

【備 考】

受験にあたっては，選択した種目に必要な服装・用具（シューズ・スパイク類等）を各自持参すること（なお，陸上競技でスパイクを使用する場合は，全天候走路用ピンとすること）。

雨天の場合は体育館用のシューズを用意すること。

万一の事故に備え，保険証等を持参してください。

(3) 試験期日及び時間割

期 日	教 科		時 間
令和 8 年 10 月 24 日 (土)	小論文 (日本語)		10 : 30～12 : 00
	学力検査	ICT 活用支援専修	13 : 00～14 : 00
		算数・数学専修 (義務)	
		英語専修 (義務)	
		数学専修 (高校)	
		英語専修 (高校)	
		養護教育専攻	11 : 00～12 : 00
	実技検査	音楽専修	13 : 00～
		図画工作・美術専修	
		保健体育専修	
	面接 (日本語)	学力検査及び実技検査 を課さない 専攻・専修・コース	13 : 00～
		養護教育専攻を除く 学力検査を課す 専攻・専修	14 : 00～
		養護教育専攻	13 : 00～
		実技検査を課す 専修	実技検査終了後～

(4) 試験場所 愛知教育大学

9. 障害のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者もしくは不安を感じる志願者は、相談締切日までに必ず本学と相談してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

相談内容によっては、対応に時間を要することもありますので出願前の早い時期に申し出てください。なお、この事前相談の内容が合否判定に影響することはありません。

(1) 相談締切日 令和 8 年 9 月 4 日 (金)

(2) 相談申込み方法

「入学試験受験上の配慮申請書」により申込みしてください。

(本学指定様式によるものとします。様式については、下記問い合わせ先に連絡の上、請求してください。)

- (3) 提出書類
 ア 入学試験受験上の配慮申請書（本学指定様式）
 イ 医師の診断書（コピー可）
 ウ 大学入学共通テストにおける「受験上の配慮事項決定通知書」（写）※該当者のみ
- (4) 問い合わせ先
 愛知教育大学入試課 TEL 0566-26-2202

10. 受験に関する注意

- (1) 試験当日は、インターネット出願登録サイトからカラー印刷した受験票及び日本留学試験の受験票を必ず持参し、受験中は机上右上に置いてください。
- (2) 受験票は、受験後も紛失したりしないよう大切に保管してください。
- (3) 試験開始 10 分前までに試験室に集合してください。
- (4) 外国に居住する者であっても、日本国内の知人等の住所を連絡先としてください。

11. 免許教科の決定について

義務教育専攻学校教育科学専修、生活・総合専修、ICT 活用支援専修、日本語支援専修及び特別支援教育専攻においては、1つの教科の中学校教員免許状（二種もしくは一種）を取得することができます。この教科を「免許教科」と呼び、入学前に希望教科を選択していただく必要があります。

なお、免許教科は、入学手続き時に行う意向調査に基づき、大学が決定します。できる限り希望に添うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することなどにより、必ずしも第1希望の教科を履修できない場合も考えられることをご承知おきください。

また、免許教科の決定後は、いかなる理由があっても、変更は一切認められません。

決定した免許教科の専門教育科目の授業では、当該教科について知識や技能の高い該当専修の学生とともに学ぶことになることから、入学手続き時の意向調査の際には、各免許教科に関する学修に当たっての要望やアドバイスを提示しますので、慎重に免許教科を選択することを求めます。

以下の本学 Web サイトにおいて、「免許教科選択に当たっての留意点」を掲載していますので併せて確認してください。

愛知教育大学 Web サイト HOME > 学部・大学院 > 免許教科
https://www.aichi-edu.ac.jp/edu/gakubu/license_subject.htm

免許教科 専攻・専修		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術	家庭	英語
義務教育 専攻	学校教育科学専修	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○
	生活・総合専修	○	○※	○	○※	○	○	○	○※	○※	○
	ICT 活用支援専修	○	○	○※	○※	○	○	○	○※	○	○
	日本語支援専修	○									○
特別支援教育専攻		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※専修として選択を薦める教科

12. 合格者発表

- (1) 令和 8 年 11 月 13 日（金）10：00 以降，出願サイトから合否結果の照会ができます。
出願サイトにログイン後，「出願内容一覧」から，「出願内容を確認」を選択し，「合否結果照会」で確認してください。また，合格者は，出願サイトから合格通知書や必要な書類のダウンロードができます。
- (2) 電話等による合否の照会には一切応じません。

13. 入学手続

入学手続の詳細は，合格者に案内する「入学手続要項」をご覧ください。

(1) 入学手続締切日

令和 8 年 12 月 4 日（金） 16：00 まで

（注）入学時期 令和 9 年 4 月

入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は，入学を辞退したものとして取り扱います。

(2) 入学料等納入金

入 学 料	282,000 円
入学時諸費用（※）	54,660 円
授 業 料 前期分	267,900 円
後期分	267,900 円

※入学時諸費用は，通学中や教育実習などの活動中の事故等に係る保険料（4 年間分），教育研究経費，大学行事，就職，課外活動及び福利厚生への支援など様々な学生支援事業のための費用で，入学時のみの費用です。

- ・納入金については，**合格者あてに案内する「入学手続要項」**にて詳細を案内します。
- ・なお，入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には，改定時から新入学科，新入学時諸費用及び新授業料を適用します。

（注）① 入学料及び入学時諸費用は，合格者の方に案内する「入学手続要項」に記載の方法にて，必ず入学手続時に納入してください。

（注）② 授業料は，入学手続要項において納入方法を指示します。

また，本学では，すべての学部学生に「教材用パソコン（インターネットに接続できるノートパソコン）」を用意していただくことになっていきますのでご承知おきください。教材用パソコンの詳細については入学手続き後にお知らせします。（本学生協で教材用パソコンに適したものを販売していますが，仕様を満たすものであれば，他の市販のパソコンや既存のパソコンをお持ちいただくことも出来ます。）

(3) 留意事項

- ・入学手続完了後に本学への入学を辞退する場合，納入済の入学料はいかなる理由があっても返還いたしません。
- ・免除又は徴収猶予申請者が入学手続き完了（免除等申請）後に入学を辞退した場合は，「免除等申請を辞退」したものととなりますので，直ちに入学料を納入していただきます。
- ・入学料・授業料の免除及び経済的支援については下記の愛知教育大学 Web サイトを参照してください。

HOME > キャンパスライフ > 学生支援関係：入学料・授業料・経済支援（免除・猶予・奨学金）について
> 学部生対象の経済支援について

https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/menjo_nyugaku.html

入学手続に関するお問い合わせ先	学生支援課 TEL 0566-26-2173
-----------------	------------------------

14. 学生寮への入寮について

学生寮への入寮を希望する者は、合格者に案内する入学手続要項に記載の方法に従って申込みを行ってください。

学生寮についての詳細は、下記の本学 Web サイトを参照してください。

愛知教育大学 Web サイト HOME > キャンパスライフ > 学生支援関係：学生寮について

<https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/dormitory.html>

学生寮に関するお問い合わせ先	学生支援課 学生寮担当 TEL 0566-26-2186
----------------	------------------------------

15. 入学手続辞退

総合型選抜の合格者は、原則として入学を辞退することは出来ません。しかしながら、やむを得ず本学への入学を辞退する場合、理由を付した「入学辞退願」（任意様式）を令和 8 年 12 月 4 日（金）までに提出し、本学学長の許可を受けなければなりません。

16. 不合格者の再出願

- (1) 入試の結果、不合格となった者であっても、令和 9 年度大学入学共通テストを受験すれば、一般選抜を受験することができます。なお、この場合は、入学検定料の納入が必要です。
- (2) 不合格となった者で、本学の一般選抜を受験する者は、一般の受験者と同様に、「令和 9 年度愛知教育大学一般選抜学生募集要項（令和 8 年 10 月中旬発表予定）」により出願手続をとってください。

17. 教育・学習データ利活用について

本学では、「国立大学法人愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、日々の教育や学習に関するデータを取得し、そのデータを安全な方法で保持・分析を行い、客観的データに基づいて教育改善や学生等の学習支援を図るとともに、データ利活用から得られた成果を公開し、広く社会に還元することに取り組んでいます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報とは、入学後、教育・学習データとして取り扱います。

【参考】「愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」

<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/708.html>

18. 個人情報の取り扱いについて

- ① 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」等本学の関係規定に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- ② 本学では、出願時に提出された個人情報（住所・氏名・生年月日等）及び入学試験成績情報は、入学選抜に関する業務、入学後の奨学制度申請、修学支援業務及びこれらに付随する業務並びに「愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」に基づくデータに利用します
- ③ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に合否及び入学手続等に関する情報を提供します。

【参考】「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」

<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/82.html>

19. 入学試験個人成績の開示

合格者発表後、総合型選抜の個人成績（総合点）を出願サイトにて開示します。

20. 安全保障輸出管理について

愛知教育大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」

愛知教育大学規程集 <https://www.aue-kitei.jp/aukitei/index.html> より

第10章 研究連携・研究支援＞国立大学法人愛知教育大学安全保障輸出管理規程

経済産業省「安全保障貿易管理」 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

21. 「こども性暴力防止法」に関する対応について

令和8年12月25日から、「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」がスタートし、18歳未満の児童等に対して教育・保育などを行う学校、保育所、学習塾などの事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められています。

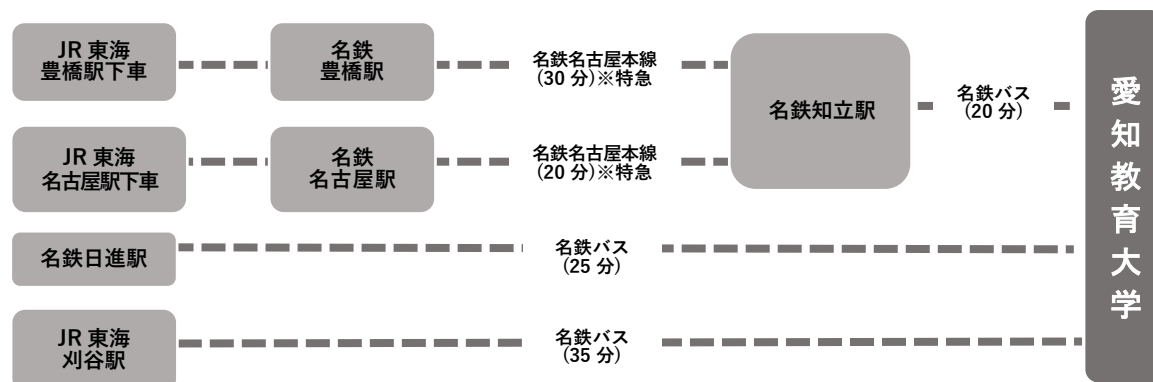
大学における教育においても、教育実習、学校体験活動といった授業やクラブ・サークル、ボランティアといった課外活動など、学生がこどもと接する活動（以下「実習等」という。）の機会が数多くある本学にとって、児童等への性暴力防止の推進は務めであります。本学は、同法の趣旨にのっとり、関係の事業者と連携の上、適正に対応してまいります。

このとき、同法の取組として、実習等の活動先となる学校等の事業者から実習等参加学生に、特定性犯罪前科の確認を求められる可能性もあるところ、犯罪事実が確認されれば、必修科目の授業はもとより種々の実習等を行うことはできなくなり、教育職員免許状等の資格取得や卒業・修了に影響する可能性が生じますので、これらのことについて、入学時に「同意書」を提出いただくこととしています。

【参考】「愛知教育大学における「こども性暴力防止法」に関する対応について」

<https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/files/r7kodomoseibouryoku.pdf>

◆ 愛知教育大学へのアクセス



- 名鉄名古屋本線「知立駅」北口からバスで約 20 分「愛知教育大前」下車
- 名鉄豊田線「日進駅」からバスで約 25 分「愛知教育大前」下車
- JR 東海道本線「刈谷駅」北口からバスで約 35 分「愛知教育大前」下車

※鉄道・バスの発着時刻等については、各交通機関の Web サイト等でご確認ください。

※本文内容等に変更が出た場合は、本学 Web サイトにて公表しますので、ご確認ください。

問い合わせ先

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 愛知教育大学 入試課

TEL 0566-26-2202 FAX 0566-26-2200

Mail nyushi-madoguchi@aecc.aichi-edu.ac.jp

Web サイト <https://www.aichi-edu.ac.jp/>

※電話等によるお問い合わせは必ず志願者本人が行ってください。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は、「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。